

活動報告

団体名	天ヶ瀬温泉未来創造プロジェクト
活動名	被災住民同士の交流と憩いのためのシェアキッチン事業
活動期間	2020/09/01～2021/03/31
活動の成果	<p>■住民さん同士の交流を生むためのシェアキッチン事業</p> <p>被災後、住民の集まっていた住居や飲食店が被害を受け、住民が集まる場所がなく、交流の機会が減少していた。また、鉄橋が流されるなど、川を挟んでの往来が不便になり、物理的にも分断されていた。そのような地域の状況の中で、本事業が始まった。リノベーション期間中は、目に見えて変わっていく物件に地域住民も興味を示し、学生ボランティアに差し入れを持参したり、声をかける姿が見られ、地域内外の人との交流が生まれていた。「あまみらカフェ」の運用が始まってからは、オープン日には10人～15人程度の地域住民が集まり、復興への不安や日々の悩みを打ち明けて、心を軽くしている様子が見られた。みなし仮設住宅へ居住している住民も「あまみらカフェ」をきっかけに被災した地元へ戻り、古くからの友人との交流を楽しむ姿が見られた。年末の餅つきイベントではのべ50名以上の参加者が餅つきを行い、お饅頭屋を運営していた被災住民が支援者として、地域住民の先頭に立ち取り組み、地域の活気を生み出していた。地域住民、みなし仮設入居者、支援者の交流の拠点として、「あまみらカフェ」が機能し、その結果、地域の交流が活発となって、地域の絆が育まれた。</p> <p>■地域情報の可視化「あまみら掲示板」と「あまみら新聞」の制作</p> <p>掲示板を設置した事により、地域住民への情報伝達の一助となり、支援物資の配布や「あまみらカフェ」オープン日時が伝わり、地域の交流に繋がった。「あまみら新聞」では、地域の情報を掲載する事により地域間の知らなかった情報を提供でき、被災住民の復興状況が共有された。また支援団体や当団体の取り組みを共有することで、地域住民もより支援者のことを身近に感じることができ、支援活動も円滑に行えるようになった。さらに、配布時には、支援団体と住民、住民同士が新聞記事を交流のきっかけにしており、地域の賑わい作りにも繋がった。</p>
寄付者へのメッセージ	<p>令和二年豪雨で被災した天ヶ瀬地区へのご寄付、ご支援本当にありがとうございました。皆様からの支援のおかげで、被災した地域に住民の交流施設「あまみらカフェ」をオープンし、地域の住民の交流や精神面でのケアを行う事ができました。また、「あまみらカフェ」の中で、地域の復興についての議論がなされ、復興に向けての地域の想いが共有されつつあります。この地域住民の想いを一番に、当団体としても引き続き天ヶ瀬地区の復興に携わり、復興の輪を広げていきたいと思っています。この度のご支援心より感謝致します。</p>

(活動のようす)

